

第95回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成17年7月8日(金) 13:30～16:30

場所：JR 東海品川ビル A 棟 303 会議室

出席者：委員長 小豆澤（神戸大）

副委員長 北野（JR 東海）

委員 岩松（鉄道総研）、海老原（五島育英会）、大崎（東京大）、坂本（九州工業大）、
築島（三菱電機）、引原（京都大）、渡辺（FDK）、増澤（茨城大）、矢野（産総研）、
古関（東京大）

幹事 水野（信州大）、村井（JR 東海）

幹事補佐 真田（大阪府立大）、鳥居（武蔵工業大）

提出資料

- 95-1 第94回リニアドライブ技術委員会議事録案（鳥居幹事補佐）
- 95-2 リニアドライブ技術委員会名簿（鳥居幹事補佐）
- 95-3 第77回産業応用部門研究調査運営委員会議事録(案)（小豆澤委員長）
- 95-4 ○○○○○○○○調査専門委員会／協同研究委員会設置趣意書（案）（小豆澤委員長）
- 95-5 平成17・18年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧（鳥居幹事補佐）
- 95-6 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール（案）（真田幹事補佐）
- 95-7 多次元ドライブシステムの可能性を探る（矢野委員）
- 95-8 リニアドライブ研究会のご案内（矢野委員）
- 95-9 平成18年全国大会シンポジウム課題提案のお願い（小豆澤委員長）
- 95-10 第18回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム（小豆澤委員長）
- 95-11 医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会（ECD）活動報告（増澤委員）
- 95-12 多自由度モータとその要素技術調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）
- 95-13 産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会（MEL）活動報告（鳥居幹事補佐）
- 95-14 超電導磁気浮上式鉄道の技術的成熟度調査専門委員会（SLD）活動報告（北野副委員長）
- 95-15 磁気支持応用機器の高機能化協同研究委員会（MLV）活動報告（村井幹事）
- 95-16 第6回多自由度モータとその要素技術調査専門委員会議事録（矢野委員）
- 95-17 第1回産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会議事録（鳥居幹事補佐）
- 95-18 第11回超電導磁気浮上式鉄道の技術的成熟度調査専門委員会議事録（北野副委員長）
- 95-19 半導体電力変換／リニアドライブ合同研究会（案）（村井幹事）

議事

議事に先立ち、新委員長の挨拶及び新委員の自己紹介が行われた。関連して、95-2を用いて名簿の確認が行われ、伊藤氏（日立）の1号委員として追加が承認された。

1 議事録確認

資料95-1を用いて議事録の確認を行い、2.8「の状況」を削除した後、承認された。

2 報告事項

- 2.1 資料95-3を用いて、大崎委員より、D部門運営委の報告があった。1号委員は「原則15名以内」とすることになったこと、LD技委委員長交代が承認されたことが報告された。学会で卓越DBを作成することとなり、現在'80-'90年の学会本部の表彰150件で800件のコンテンツを現在まとめているところである。さらに、H18電磁力シンポの計画趣意書が承認されたこと、調専委の設置趣意書・解散報告書を資料95-4に準拠して記述してほしいとの依頼があったことが報告された。
- 2.2 資料95-5を用いて、平成17・18年度各委員会の予定を確認し、以下の修正があった。
 - (1) LD研究会：11月の開催日を11/17,18に変更。
 - (2) ECD委：8/5の開催予定を追加。
 - (3) MDD委：12/16の開催日がLD研究会と重なるため、再検討する。
 - (4) H18年5/18-19電磁力シンポ（神戸）を追加。

(5) H18年 11/20-23 ICEMS2006 (Nagasaki, Japan)を追加。

- 2.3 資料 95-6 を用いて、真田幹事補佐より、資料提出スケジュールについての確認が行われた。
- 2.4 資料 95-7 を用いて、矢野委員より、前MDD委の技術報告書の原稿が提出され、近日中に発行される予定であることが報告された。
- 2.5 資料 95-8 を用いて、矢野委員より、11月開催予定のリニアドライブ研究会について、会場の都合で11/10,11 から 11/17,18 に開催日が変更になったとの報告があった。会場はアクトシティ浜松、申し込み締め切りは8/24である。
- 2.6 資料 95-19 を用いて、村井幹事より、12月開催予定の半導体電力変換／リニアドライブ合同研究会についての案内があった。12/15,16 に琉球大学工学部で開催され、申し込み締め切り予定は10/7である。
- 2.7 小豆澤委員長より6/30に開催された研究経営会議についての情報が報告された。今後の方針として、部門活性化のための技委の見直しと、活性化のための新規分野の開拓が挙げられている。技術委員会の1号委員の任期を年度末に揃えること、会員数増加のため、会員比率は技委は100%、調専委は80%を目標とすることが述べられた。全国大会について、東京と地方の隔年開催だったが、支部活性化のため5年サイクルで各地方を回るようにすること、プロジェクト費用負担のため参加費の値上げが検討されている。また、研究会資料について、年間100件の発表、100件の予約購読の実現に向け努力する方針であることが報告された。

3 審議事項

- 3.1 資料 95-10 を用いて、小豆澤委員長より、来年の電磁力シンポをD部門主催で開催する詳細についての説明があった。ショットガン／ポスタ形式だと1回の発表数が少なすぎるため、これまでの3日間開催を2日間に短縮し、神戸にて、5/18,19に開催したいとの提案があり、承認された。開催案内の詳細についての指摘があった。シンポジウムの名前のゆらぎについての指摘があり、統一する方向で他学会と調整を進めることとした。
- 3.2 資料 95-9 を用いて、小豆澤委員長より、H18年全国大会シンポジウム提案の依頼があったことが紹介され、リニアドライブ技術委員会からの提案についての審議が行われた。来年はMDD委から提案することが承認された。関連して、過去の担当委員会リストをまとめ、資料としてwebで公開することとした。

4 各調査専門委員会活動報告

資料 95-11～95-18 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

5 その他

小豆澤委員長より、LDIA2005の進捗状況の概要についての報告があった。最新の情報として、参加登録が115件あり、うち登壇者は108名である。Technical Tourは現状18名が申し込んでいる。

以上